

平成24年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

平成24年6月6日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



県南部を中心に付着稚貝数が増加

< 調査結果の概要 >

- ラーバの出現数は増加傾向。200 μ 以上の大型個体の比率も上昇。
 - 試験採苗器の付着稚貝数は80~2,074個/袋でした。唐丹湾では前回（161個/袋）よりも大幅に増加し、そのうち4割弱が付着直後の稚貝でした。
 - 唐丹湾の水深10m層の水温は11.4 $^{\circ}$ Cと、平年並みとなっています。透明度は9m（前回11m）でした。
 - 県北部と釜石以南の県中南部と南部では採苗器の投入適期。
- < 陸奥湾の状況（5月31日発行青森県採苗速報） >
- ラーバの出現数は全湾平均で1,002個/ m^3 と、前回より減少。
 - 試験採苗器の付着稚貝数は4,232~14,560個/袋（6~8日間）でした。
- < 宮城県の状況（5月30日発行気仙沼水産試験場速報） >
- 試験採苗器の付着稚貝数は0~1,450個/袋（3~10日間）でした。
 - 付着稚貝数が増加したことから、採苗器の投入を指示。

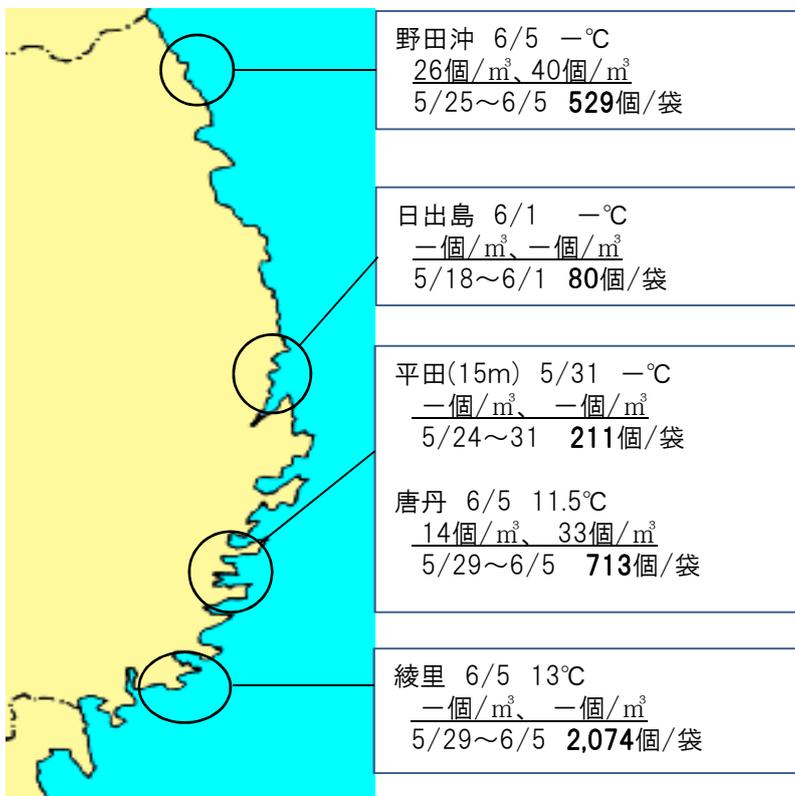


図1 各定点の調査結果

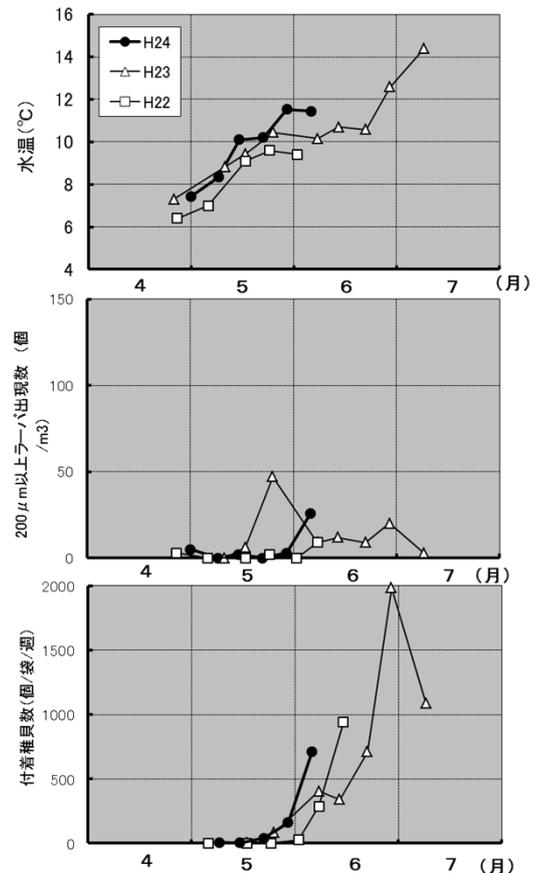


図2 唐丹湾における水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

調査点 調査日 10m層水温
 ラーバ出現数(200 μ 未満、200 μ 以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

次報は、6月14日に発行する予定です。